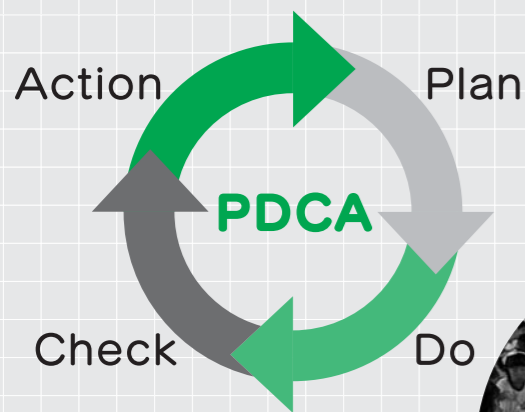


ここが知りたい! 訴えたい!!

# 一般質問

9月定例会では、9月21日、5名の議員が質問しました。



マネジメントサイクル概念図



耕作放棄田



保育園給食風景



巡回健康相談



みつる(株)跡地

(質問順に掲載)

| 質問議員   | 主な質問事項                                     | 掲載ページ |
|--------|--|-------|
| 松枝 治幸  | ■ マネジメントサイクルは確立しているか? 他                    | 12ページ |
| 牟田口美智子 | ■ 園児の食物アレルギーへの対応は<br>■ 効果的な液肥利用について        | 15ページ |
| 中島 宗昭  | ■ 耕作放棄地の現状と解消対策について<br>■ 集落内の環境整備と支援対策について | 18ページ |
| 井上 護   | ■ 国民健康保険税の引き上げはないのか                        | 20ページ |
| 松枝 友久  | ■ みつる株式会社跡地の問題について                         | 22ページ |

## 総務・建設・産業常任委員会活動実施状況報告

### 常任委員会活動概要

・課題の抽出と重要課題(研究課題)の選定

多種・多様な意見や活発な議論の中から、重要かつ緊急性のある「くるるん周辺の野菜生産農地問題」を、次回課題に選定。

### 常任委員会の活動

・地産地消モデルタウン事業(くるるん周辺野菜生産)について研究した。

参加議員は、総務建設産業常任委員会の6名と議長の7名

経営者側は、環境課、産業振興課、大木町健康づくり公社、JA

内容は、経営者側からの今までの経緯について説明があり、その後、

この事業の課題と取り巻く諸

問題について討議。

JA、公社、町等それぞれの責任の所在や課題など、問題点が少しずつ明らかになってきました。このモデルタウン構想の当初目標である、安全な地産地消の仕組み、高齢者や女性などの生きがいづくり、生産者と消費者交流推進、農地景観づくり等に、常任委員会も一緒になって課題解決に邁進しております。



くるるん周辺の野菜畑前で

### 町村監査委員全国研修会

東京のメルパルクホールで開催された第21回町村監査委員全国研修会に参加しました。

表彰式から始まり、講師の読売新聞東京本社編集委員青山彰久氏、市町村アカデミー客員教授大塚康男氏、公認会計士池田昭義氏より、「地方自治の展望と課題」「監査委員が知っておきたい債権管理」「監査責任と効率的な監査の執行の仕方について」の講演が行われました。

自治体が扱っている代表債権、効率的な監査の執行責任などについて詳しく説明があり、監査委員の責任の重大さなど今後の監査活動につなげていける有意義な研修でした。

(参加者/監査委員 中島和正 事務局 福山圭美)



研修会の様子

### 区長会と議員との懇談会の内容

- ・くるるん周辺の野菜生産農地問題
- ・クレーク法面崩落問題
- ・子どもの通学路の問題について
- ・消防水利の問題について
- ・八丁牟田駅周辺の開発
- ・高齢者の移動手段や買い物対策として宅配事業を考える

などについて議論しました。